

2023年1月期（2022年1月21日～2023年1月20日）決算短信

2023年3月6日

ファンド名 純パラジウム上場信託（現物国内保管型） 上場取引所 東証
 コード番号 1543
 連動対象指標 大阪取引所におけるパラジウム1グラムあたりの先物価格を、一定の貴金属業者の提示するフォワードレートで現在価値に引き直した価格に基づくパラジウム地金の標準純度質量10グラムあたりの価格
 主要投資資産 パラジウム地金
 売買単位 1口
 発行会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 URL <https://kikinzoku.tr.mufg.jp/>
 代表者名 取締役社長 長島 巖
 問合せ先責任者 証券代行部 岡田 雄一 TEL 0120-232-711

有価証券報告書提出予定日 2023年4月20日
 分配金支払開始予定日 原則として分配金はありません

I ファンドの運用状況

1. 2023年1月期の運用状況（2022年1月21日～2023年1月20日）

(1) 資産内訳

(千円未満切捨て)

	主要投資資産		現金・預金・その他の資産 (負債控除後)		合計（純資産）	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
2023年1月期	千円 1,584,451	% (100.1)	千円 △1,402	% (△0.1)	千円 1,583,048	% (100.0)
2022年1月期	1,410,253	(100.1)	△1,316	(△0.1)	1,408,937	(100.0)

(2) 設定・交換実績

	前計算期間末 発行済口数(①)	設定口数(②)	交換口数(③)	当計算期間末 発行済口数 (①+②-③)
2023年1月期	口 26,647	口 3,100	口 1,100	口 28,647
2022年1月期	22,097	4,550	0	26,647

(3) 純資産

	総資産 (①)	負債 (②)	純資産 (③(①-②))	1口当たり純資産 (③/当計算期間末発行済口数)
2023年1月期	千円 1,598,602	千円 15,554	千円 1,583,048	円 55,260.54
2022年1月期	1,442,185	33,247	1,408,937	52,874.15

2. 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 有
 ② ①以外の会計方針の変更 無

II 財務諸表等

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

科目	期別	前計算期間末 2022年1月20日現在	当計算期間末 2023年1月20日現在
資産の部			
流動資産			
銀行勘定貸		-	0
未収消費税等		31,931	14,151
流動資産合計		31,931	14,151
固定資産			
投資その他の資産（※1）		1,410,253	1,584,451
固定資産合計		1,410,253	1,584,451
資産合計		1,442,185	1,598,602
負債の部			
流動負債			
未払金		1,453	1,547
仮受金		31,794	14,006
流動負債合計		33,247	15,554
負債合計		33,247	15,554
純資産の部			
元本等			
元本（※2,3）		1,428,942	1,611,004
利益剰余金			
その他利益剰余金			
繰越利益剰余金（※3）		△ 20,004	△ 27,955
利益剰余金合計		△ 20,004	△ 27,955
元本等合計		1,408,937	1,583,048
純資産合計		1,408,937	1,583,048
負債純資産合計		1,442,185	1,598,602

(2) 損益計算書

(単位：千円)

科目	期別	前計算期間 自 2021年1月21日 至 2022年1月20日	当計算期間 自 2022年1月21日 至 2023年1月20日
営業収益			
その他の事業収益（※1）		3,449	4,129
営業収益合計		3,449	4,129
営業費用			
受託者報酬		8,984	11,527
その他費用		1,405	1,433
営業費用合計		10,389	12,961
営業損失（△）		△ 6,939	△ 8,832
営業外収益			
受取利息		0	-
営業外収益合計		0	-
経常損失（△）		△ 6,939	△ 8,832
税引前当期純損失（△）		△ 6,939	△ 8,832
当期純損失（△）		△ 6,939	△ 8,832

(3) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1 投資その他の資産の評価基準及び評価方法	移動平均法による原価法により評価を行っております。
2 その他	本信託における消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

(会計方針の変更に関する注記)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 令和2年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当事業年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。この変更による当財務諸表への影響はありません。

なお、収益認識会計基準第89-3項に定める経過的な取扱いに従って、前計算期間に係る「収益認識関係」注記については記載していません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 令和元年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当事業年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 令和元年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。この変更による当財務諸表への影響はありません。

(貸借対照表に関する注記)

前計算期間末 (2022年1月20日)					
※1 投資その他の資産は、信託約款第7条に定める本信託の信託財産であるパラジウム地金であります。					
※2 元本は、「財務諸表等規則」第61条に定める資本金であります。					
※3 元本及び利益剰余金の変動					
当計算期間 (自 2021年1月21日 至 2022年1月20日)					
(単位：千円)					
	元本等			元本等合計	純資産合計
	元本	利益剰余金	利益剰余金 合計		
		その他利益剰余金 繰越利益剰余金			
当期首残高	1,109,660	△13,064	△13,064	1,096,595	1,096,595
当期変動額					
設定	319,281	-	-	319,281	319,281
転換	-	-	-	-	-
当期純損失 (△)	-	△ 6,939	△ 6,939	△ 6,939	△ 6,939
当期変動額 合計	319,281	△ 6,939	△ 6,939	312,341	312,341
当期末残高	1,428,942	△ 20,004	△ 20,004	1,408,937	1,408,937

純パラジウム上場信託（現物国内保管型）（1543）2023年1月期決算短信

当計算期間末（2023年1月20日）

- ※1 投資その他の資産は、信託約款第7条に定める本信託の信託財産であるパラジウム地金であり
 ます。
 ※2 元本は、「財務諸表等規則」第61条に定める資本金であります。
 ※3 元本及び利益剰余金の変動
 当計算期間（自 2022年1月21日 至 2023年1月20日）

（単位：千円）

	元本等			元本等合計	純資産合計
	元本	利益剰余金	利益剰余金 合計		
		その他利益剰余金 繰越利益剰余金			
当期首残高	1,428,942	△ 20,004	△ 20,004	1,408,937	1,408,937
当期変動額					
設定	241,049	-	-	241,049	241,049
転換	△ 58,987	881	881	△ 58,106	△ 58,106
当期純損失 （△）	-	△ 8,832	△ 8,832	△ 8,832	△ 8,832
当期変動額 合計	182,062	△ 7,950	△ 7,950	174,111	174,111
当期末残高	1,611,004	△ 27,955	△ 27,955	1,583,048	1,583,048

（損益計算書に関する注記）

前計算期間 自 2021年1月21日 至 2022年1月20日	当計算期間 自 2022年1月21日 至 2023年1月20日
※1 その他の事業収益とは、信託約款第23条に基づ く信託財産の売却による利益であります。	同左

（金融商品に関する注記）

I 金融商品の状況に関する事項

（1）金融商品に対する取組方針

本信託は、パラジウム地金を信託財産とした信託に係る受益権を金融商品取引所に上場し、受益者の投資に資するよう受託者が主としてパラジウム地金を信託財産として管理及び処分することを目的としており、受託者による信託財産の運用は行っておりません。

（2）金融商品の内容及びリスク

①未収消費税等

追加設定等により委託者等にパラジウム地金の引渡し（譲渡）を受けた際に、当該委託者等へ支払った消費税等相当額であり、1年以内に還付される予定であります。

②仮受金

消費税等の支払に充当するための現預金を受託者の銀行勘定より一時的に立替えを受けているものであり、リスクは限定的であります。

③銀行勘定貸

銀行勘定貸とは、信託財産に属する金銭を受託者の銀行勘定で運用することをいいます。銀行勘定貸には信用リスクがあり、運用先である受託者の信用状況が悪化した場合、投資した金銭の一部または全部が毀損することがあります。

（3）金融商品に係るリスク管理体制

本信託では、受託者による信託財産の運用は行っておらず、該当事項はありません。

II 金融商品の時価等に関する事項

(1) 貸借対照表計上額の時価との差額

貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次の通りです。

2022年1月20日現在

(単位：千円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
①未収消費税等	31,931	31,931	—
資産計	31,931	31,931	—
②仮受金	31,794	31,794	—
負債計	31,794	31,794	—

(注1) 金融商品の時価の算定方法に関する事項

①未収消費税等、②仮受金

これらは短期間で決済され、時価は帳簿価額に近似していることから、当該帳簿価額によっております。

2023年1月20日現在

未収消費税等、仮受金、銀行勘定貸は、短期間で決済されるため、時価が帳簿価額に近似することから、注記を省略しております。

(2) 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

2022年1月20日現在

(単位：千円)

	1年以内	1年超2年以内	2年超
未収消費税等	31,931	—	—
合計	31,931	—	—

2023年1月20日現在

未収消費税等、銀行勘定貸は、短期間で決済されるため、時価が帳簿価額に近似することから、注記を省略しております。

III 金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項

2023年1月20日現在、前項にて注記を省略しているため、記載を省略しております。

(収益認識に関する注記)

当期（自 2022年1月21日 至 2023年1月20日）

対象となる収益がないため、記載を省略しております。

純パラジウム上場信託（現物国内保管型）（1543）2023年1月期決算短信

（関連当事者との取引に関する注記）

前計算期間										
自 2021年1月21日										
至 2022年1月20日										
種類	会社等の名称	所在地	資本金又は出資金 (千円) (2021年12月末現在)	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合 (%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
主要受益者	三菱商事 RtM ジャパン (株)	東京都千代田区	3,143,062	商社	(被所有) 13.2	信託財産の売却	パラジウム地金の売却 (注3) 売却代金 売却益 売却損	10,358 3,449 —	—	—

注1 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

注2 当計算期間の全取引について記載しております。

注3 パラジウム地金の売却については、信託約款第23条に定める取引条件に拠っております。

当計算期間										
自 2022年1月21日										
至 2023年1月20日										
種類	会社等の名称	所在地	資本金又は出資金 (千円) (2022年12月末現在)	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合 (%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
主要受益者	三菱商事 RtM ジャパン (株)	東京都千代田区	3,143,062	商社	(被所有) 17.71	信託財産の売却	パラジウム地金の売却 (注3) 売却代金 売却益 売却損	12,875 4,129 —	—	—

注1 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

注2 当計算期間の全取引について記載しております。

注3 パラジウム地金の売却については、信託約款第23条に定める取引条件に拠っております。

純パラジウム上場信託（現物国内保管型）（1543）2023年1月期決算短信

（1口当たり情報に関する注記）

（単位：円）

前計算期間 自 2021年1月21日 至 2022年1月20日		当計算期間 自 2022年1月21日 至 2023年1月20日	
1口当たり純資産額	52,874.15	1口当たり純資産額	55,260.54
1口当たり当期純損失（△）	△298.09	1口当たり当期純損失（△）	△ 317.36

（重要な後発事象に関する注記）

該当事項はありません。